

2. 取り組むべき施策

がん対策の具体的取組は、第4期奈良県がん対策推進計画によることとしています。第4期奈良県がん対策推進計画は、「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県」を基本理念とし、以下の3つを全体目標に掲げています。

(1) 全体目標

1) 県民ががんにならない、がんで亡くならない

(がんで亡くならない県、日本一)

指標	現状値（基準値）	目標値
がん75歳未満年齢調整死亡率	62.4	52.8

がんを予防する方法を普及啓発するとともに関係者との連携による取組を推進し、がん罹患率を減少させます。また、県民ががん検診を受けやすい体制を整備し、がんを早期発見するとともに、質の高い医療を提供することでがん死亡率を減少させます。

県のがん75歳未満年齢調整死亡率は、年々減少していますが、令和3（2021）年では全国7位に留まっています。第4期計画でも引き続き「がんで亡くならない県、日本一」を目指します。

2) すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる

指標	現状値（基準値）	目標値
これまで受けた治療に納得している患者の割合	88.0	増加

がん患者の多くは、身体的な苦痛だけでなく、がんと診断された時から不安やうつ等の精神心理的苦痛や社会的苦痛を抱えています。また、その家族もがん患者と同様に様々な苦痛を抱えています。

がんゲノム医療をはじめとした高度ながん医療の提供を推進するとともに、がんと診断された時からの質の高い緩和ケアの提供やがんに関する相談支援や情報提供により、すべてのがん患者及び家族等の苦痛を軽減し、療養生活の質の向上を目指します。

3) すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる

指標	現状値（基準値）	目標値
現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合	70.5 (参考値※8)	増加

県民ががんを正しく理解し、向き合い、医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等と連携し、社会的な問題を解決することで、住み慣れた地域社会の中で自分らしく療養生活を送ることを目指します。

(2) 分野別施策

3つの全体目標を達成するため、7つの取組分野を定め、それぞれの取組分野に分野別目標（めざす姿）を設定しています。さらに、それらを支える取組として、「がん登録」と「がん教育・知識の普及啓発」を推進します。指標や目標値等の具体的な内容は「第4期奈良県がん対策推進計画」で定めています。

1) がん予防

- 【分野別目標】
- ・がん罹患率が減少している
 - ・がんに関する正しい知識を持っている

【主な取組】

- 喫煙や受動喫煙による健康への影響を周知するとともに、禁煙希望者が確実に禁煙できる支援体制整備、特に女性を対象にした禁煙支援、20歳未満の者の禁煙支援相談窓口の設置等、たばこ対策を強化します。また、健康増進法に則り、受動喫煙防止のための周知啓発、施設管理者等への指導等に取り組みます。
- 禁煙以外にがんのリスクを低下させるために改善可能な生活習慣として、節酒、食生活、身体活動、適正体重があげられています。これらの生活習慣ががんの予防につながることを啓発するとともに、行動変容に結びつきやすい具体的な方法を提示し周知します。
- B型肝炎予防接種や肝炎検査の情報の周知、HPVワクチン接種に関する啓発を強化するとともに、肝炎については陽性者が早期受診するよう重症化予防の取組を推進します。また、HTLV-1母子感染予防対策として、産科医療機関や市町村と連携して、キャリア妊婦や児への支援を行います。

※8 患者体験調査（厚生労働省）による。現状値は次回（R7 予定）の「ならのがんに関する患者意識調査」で把握予定。